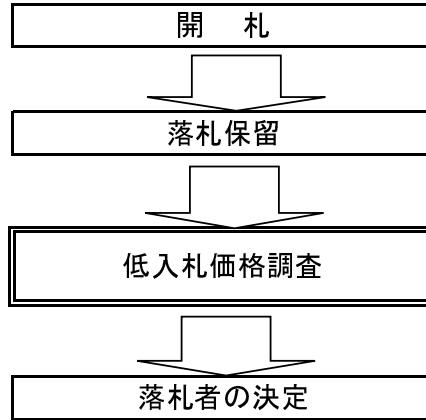


重点監督実施フロー

○開札から契約まで

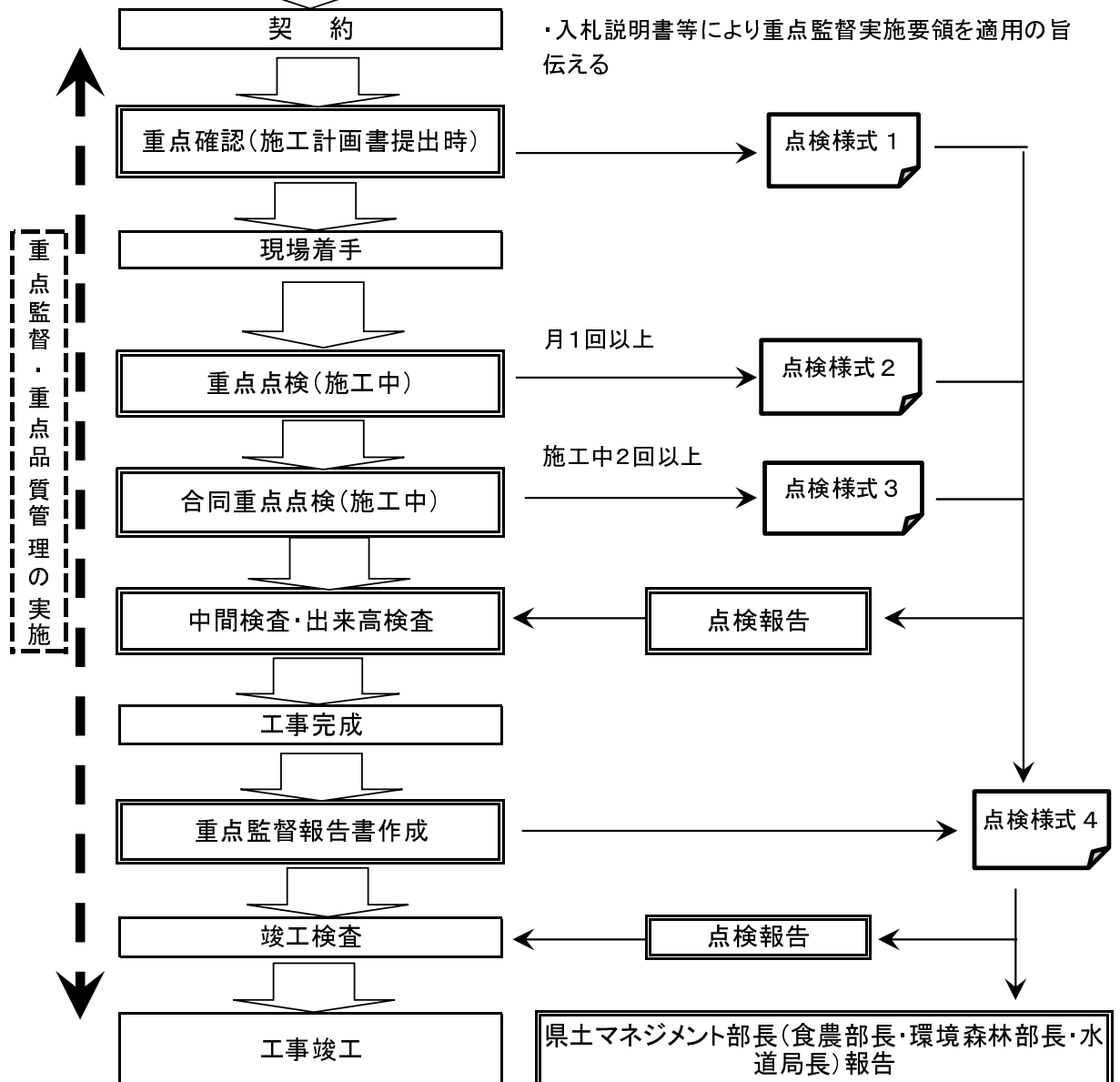


・開札の結果、調査基準価格を下回る者がいる場合

・奈良県県土マネジメント部低入札価格調査制度に係る取扱要領
・奈良県県土マネジメント部低入札価格調査マニュアル

・契約の内容に適合した履行がなされると認めた場合

○契約から完成まで



別表2

段 階 確 認 一 覧

一般：一般監督
重点：重点監督

1 / 3

種 別	細 別	確認時期	確認項目	確認の程度
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回／1工事
河川土工（堀削工） 海岸土工（堀削工） 砂防土工（堀削工） 道路土工（堀削工）		土（岩）質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
道路土工（路床盛土工） 舗装工（下層路盤）		ブルーフローリング実施時	ブルーフローリング実施状況	1回／1工事
表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理	処理完了時	使用材料、基準高、幅、延長、施工厚さ	一般：1回／1工事 重点：1回／100m
	置換	堀削完了時	使用材料、幅、延長、置換厚さ	一般：1回／1工事 重点：1回／100m
	サンドマット	処理完了時	使用材料、幅、延長、施工厚さ	一般：1回／1工事 重点：1回／100m
パーチカルドレーン工	サンドドレーン 袋詰式サンドドレーン ペーパードレーン	施工時	使用材料、打込長さ	一般：1回／200本 重点：1回／100本
		施工完了時	施工位置、杭径	一般：1回／200本 重点：1回／100本
締固め改良工	サンドコンパクションパイル	施工時	使用材料、打込長さ	一般：1回／200本 重点：1回／100本
		施工完了時	基準高、施工位置、杭径	一般：1回／200本 重点：1回／100本
固結工	粉体噴射攪拌 高圧噴射攪拌 セメントミルク攪拌 生石灰パイル	施工時	使用材料、深度	一般：1回／200本 重点：1回／100本
		施工完了時	基準高、位置・間隔、杭径	一般：1回／200本 重点：1回／100本
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量	一般：1回／20本 重点：1回／10本
アンカー工		施工時	モルタルグラウト品質管理、載荷試験、配置誤差	一般：30％程度／1構造物 重点：60％程度／1構造物
補強土壁工		施工時	現場密度	一般：30％程度／1構造物 重点：60％程度／1構造物
矢板工 （仮設を除く）	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 一般：1回／150枚 重点：1回／100枚
		打込完了時	基準高、変位	
	鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 一般：1回／75本 重点：1回／50本
		打込完了時	基準高、変位	
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力	試験杭＋ 一般：1回／10本 重点：1回／5本
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込完了時（打込杭）	基準高、偏心量	試験杭＋ 一般：1回／10本 重点：1回／5本
		堀削完了時（中堀杭）	堀削長さ、杭の先端土質	
		施工完了時（中堀杭）	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回／10本 重点：1回／5本

別表 2

段 階 確 認 一 覧

一般：一般監督
重点：重点監督

2 / 3

種 別	細 別	確認時期	確認項目	確認の程度
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	堀削完了時	堀削長さ、支持地盤	試験杭＋ 一般：1回／10本 重点：1回／5本
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	一般：30%程度/1構造物 重点：60%程度/1構造物
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	試験杭＋ 一般：1回/10本 重点：1回/5本
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回／10本 重点：1回／5本
深礎工		土（岩）質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
		堀削完了時	長さ、支持地盤	一般：1回／3本 重点：全数
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	1回／1本
		施工完了時	基準高、偏心量、径	一般：1回／3本 重点：全数
		グラウト注入時	使用材料、使用量	一般：1回／3本 重点：全数
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン基礎工		鉄沓据え付け完了時	使用材料、施工位置	1回／1構造物
		本体設置前（オープンケーソン）	支持層	
		堀削完了時（ニューマチックケーソン）		
		土（岩）質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	1回／1ロット
鋼管井筒基礎工		打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、支持力	試験杭＋ 一般：1回/10本 重点：1回/5本
		打込完了時	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回／10本 重点：1回／5本
置換工 （重要構造物）		堀削完了時	使用材料、幅、延長、置換厚さ、支持地盤	1回／1構造物
築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線
砂防ダム		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線
護岸工	法履工（履工施工がある場合）	履土前	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	1回／1工事
	基礎工、根固工	設置完了時	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	1回／1工事

別表 2

段 階 確 認 一 覧

一般：一般監督
重点：重点監督

3 / 3

種 別	細 別	確認時期	確認項目	確認の程度
重要構造物 函渠工 (樋門・樋管を含む) 躯体工 (橋台) R C躯体工 (橋脚) 橋脚フーチング工 R C擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		土 (岩) 質の変化した時	土 (岩) 質、変化位置	1 回 / 土 (岩) 質の変化毎
		床堀堀完了時	支持地盤 (直接基礎)	1 回 / 1 構造物
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度 / 1 構造物 重点：60%程度 / 1 構造物
		埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	1 回 / 1 構造物
躯体工 R C躯体工		沓座の位置決定時	沓座の位置	1 回 / 1 構造物
床版工		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度 / 1 構造物 重点：60%程度 / 1 構造物
鋼 橋		仮組立て完了時 (仮組立てが省略となる場合を除く)	キャンバー、寸法等	一般：——— 重点：1 回 / 1 構造物
ポストテンションT (I) 桁製作工 プレキャストブロック 桁組立工 プレビーム桁製作工 P Cホロースラブ製作工 P C版桁製作工 P C箱桁製作工 P C片持箱桁製作工 P C押出し箱桁製作工		プレストレス導入完了時 横締め作業完了時	設計図書との対比	一般：5%程度 / 総ケーブル数 重点：10%程度 / 総ケーブル数
		プレストレス導入完了時 縦締め作業導入完了時	設計図書との対比	一般：10%程度 / 総ケーブル数 重点：20%程度 / 総ケーブル数
		P C鋼線・鉄筋組立て完了時 (工場製作を除く)	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度 / 1 構造物 重点：60%程度 / 1 構造物
トンネル堀削工		土 (岩) 質の変化した時	土 (岩) 質、変化位置	1 回 / 土 (岩) 質の変化毎
トンネル支保工		支保工完了時 (支保工変更毎)	吹き付けコンクリート厚 ロックボルト打ち込み本数及び長さ	1 回 / 支保工変更毎
トンネル履工		コンクリート打設前	巻立空間	一般：1 回 / 構造の変化毎 重点：3 打設毎又は1 回 / 構造の変化毎の頻度の多い方 ※重点監督：地山等級が D, E のもの 一般監督：重点監督以外
		コンクリート打設後	出来形寸法	1 回 / 200m 以上臨場により確認
トンネルインバート工		鉄筋組立て完了時	設計図書との対比	1 回 / 構造の変化毎
ダム工	各工事ごと別途定める。		各工事ごと別途定める。	

注)・表中の「確認の程度」は、把握頻度の目安であり、実施にあたっては現場状況等を勘案のうえ、これを最小限と設定することとする。

・1ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位 (目地) 毎とする。

・一般監督：重点監督以外の工事

・重点監督：下記の工事

イ 低入札工事

ロ その他

別表 3

施工状況把握一覧

一般：一般監督
重点：重点監督

1 / 2

種 別	細 別	施工時期	把握項目	把握の程度
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン基礎工 深礎工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
重要構造物 函渠工 (樋門・樋管を含む) 躯体工(橋台) RC躯体工(橋脚) 橋脚フーチング工 RC擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
床版工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
ポストテンションT (I)桁製作工 プレキャスト桁製作工 PCホロースラブ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工 PC押出し箱桁製作工		コンクリート打設時 (工場製作を除く)	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
トンネル工		施工時(支保工変更毎)	施工状況	一般：1回／支保工変更毎 重点：1回／支保工変更毎ただし、最低10支保工毎 ※重点監督：地山等級がD、Eのもの 一般監督：重点監督以外
盛土工 河川 道路 海岸 砂防		敷均し・転圧時	使用材料、敷均し・締固め状況	一般：1回／1工事 重点：2～3回／1工事
舗装工	路盤、表層、基層	舗設時	使用材料、敷均し・締固め状況、天候、気温、舗設温度	一般：1回／1工事 重点：1回／3,000㎡

別表 4

重点点検簿一覧

点検名及び点検時期	点検者(発注者)	受検者(請負者)	点検内容	備考
施工体制の重点確認簿 (施工計画書提出時) (点検様式 1)	総括監督員	現場代理人 監理(主任)技術者 補助監理技術者	施工計画書及び施工体制等について、監理技術者または補助監理技術者からの説明(ヒアリング)を求め、確認する。 点検簿の記載は総括監督員において行い、「改善指導」した項目は後日「改善確認」を行い、その状況を点検簿にまとめる。	請負者は、左記の者が受検し点検結果を確認するものとする。
施工体制の重点点検簿 (施工中・月 1 回以上) (点検様式 2)	主任監督員	現場代理人 監理(主任)技術者 補助監理技術者(必要に応じて)	施工プロセスのチェックリスト及び点検簿を基に、書面確認及び現場確認を実施する 点検簿の記載は主任監督員において行い、「改善指導」した項目は後日「改善確認」を行い、その状況を点検簿にまとめる。	請負者は、左記の者が受検し点検結果を確認するものとする。
施工体制の合同重点点検簿 (施工中 2 回以上) (点検様式 3)	総括監督員 立会者 重点監督員(業務課) 指導点検員(技術管理課)	現場代理人 監理(主任)技術者 補助監理技術者(必要に応じて)	指導点検員の立会により、点検簿を基に書面確認及び現場確認を実施する。 点検簿の記載は総括監督員において行い、「改善指導」した項目は後日「改善確認」を行い、その状況を点検簿にまとめる。	請負者は、左記の者が受検し点検結果を確認するものとする。
重点監督報告書 (工事完成時) (点検様式 4)	出先機関の長		点検様式 4 を用い点検様式 1 ～ 3 をまとめて、出先機関の長が県土マネジメント部長(食農部長・環境森林部長・水道局長)まで報告する。(点検様式 1 ～ 3 の写しを添付)	

別表 3

施工状況把握一覧

一般：一般監督
重点：重点監督

2 / 2

種 別	細 別	施工時期	把握時期	把握の程度
塗装工		清掃・錆落とし施工時	清掃・錆落とし状況	1 回 / 1 工事
		施工時	使用材料、天候、気温	1 回 / 1 工事
樹木・芝生管理工 植生工	施肥、薬剤散布	施工時	使用材料、天候、気温	1 回 / 1 工事
ダム工	各工事ごと別途定める。		各工事ごと別途定める。	

注）・表中の「把握の程度」は、把握頻度の目安であり、実施にあたっては現場状況等を勘案のうえ、これを最小限と設定することとする。

・ 1 ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位（目地）毎とする

・ 一般監督：重点監督以外の工事

・ 重点監督：下記の工事

イ 低入札工事

ロ その他